

離島における漁網・化繊ロープ類ごみについて



飛島/田下(たのしり)海岸

2024年7月19日

NPO法人パートナーシップオフィス副理事長
山形県海岸漂着物対策推進協議会副会長

金子 博

○飛島など離島における漁網・化繊ロープ類の回収は困難が伴う作業
漂着現場へのアクセスの悪さ

大型機材を持ち込めない海岸では、漁網・化繊ロープの切断に伴う労力が多大
運び出す際のごみ袋の重さも負担に

○とくに日本海側の離島への漂着量が多く、国際的な取組みが重要
対馬～壱岐～隠岐～佐渡～粟島～飛島 など

○海岸漂着物処理推進法の制定から15年、漁業系プラスチックごみ
対策は進展していない

⇒ 漁網・化繊ロープ類の実態把握と回収処理を兼ね合わせた離島での
モデル事業の実施を！



海岸に長期間放置された漁網や化繊ロープ類は劣化が著しく、その切断も容易ではない



【漂着場所】

山形県酒田市飛島西海岸(荒崎)

作業日:2021/06/12

【化繊ロープの漂着概況】

横幅:約5.3m

奥行:約1.3m

高さ:約0.5m

直径:30mm

※回収量からの長さの推計値:約325m
(0.385kg/0.95m)

【切断回収作業時間】

5人×1.5時間=7.5人・時

※地元自治体の塵埃焼却施設での処理のため、60cm程度の長さに切断

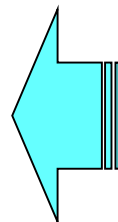
【重量など】

20ℓゴミ袋:30袋

重量合計:131.6kg

かさ比重概算:0.22

継続は力、飛島クリーンアップ作戦は今年で24回目・・・



2024年4月30日の飛島西海岸

数年、回収活動が実施できない
でいると...

